

リハビリテーションの臨床的効果を上げるための 課題を考えるシンポジウム

病院におけるリハビリテーションの効果を高めるために、運動量と質の確保が必要とされています。近年、装具などをはじめとした従来の支援機器に加え、テクノロジーの進歩により、さまざまな支援機器が臨床現場に導入されています。しかしながら、臨床場面において、支援機器の活用が十分に、その目的を果たしているところは多くはないと推察されます。今回のシンポジウムでは、臨床的効果を上げるための支援機器の運用システム、教育システム、管理方法について、実際、臨床現場で実践されている先生を招聘し、具体的に問題解決できるディスカッションの機会を設けました。少しでも先生方の課題解決の一助になれば幸いです。

2024.5.11 土 13:00～16:00

会場
zoom
ウェビナー

費用
¥3,000

申込み切
5/7



<座長> 西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション科専門医 勝谷 将史 先生
桜十字福岡院 理学療法士 遠藤 正英 先生

詳細
お申込みは
こちら

プログラム

13:00～13:20
(20分)

問題提起

リハビリテーションの臨床的効果を上げるための課題とは

西宮協立リハビリテーション病院
リハビリテーション科専門医 勝谷 将史 先生



13:20～13:40
(20分)

テーマ

急性期から始める脳卒中後下肢痙縮に対する
デバイス併用療法定着に向けた当院の取り組み

藍の都脳神経外科病院
理学療法士 君浦 隆ノ介 先生



13:40～14:00
(20分)

テーマ

積極的リハビリテーションが臨床効果を上げる!?
～人材教育と管理の実践～

桜十字福岡院 理学療法士 遠藤 正英 先生



14:00～14:10 (10分) 休憩

14:10～14:30
(20分)

テーマ

回復期リハビリテーション病棟における動作の客観的評価への
取り組みが人材育成にどのように影響するか

宝塚リハビリテーション病院 理学療法士 中谷 知生 先生



14:30～14:50
(20分)

テーマ

回復期リハビリテーション病院の教育システム、
地域に向けた継続支援

愛仁会リハビリテーション病院 理学療法士 池上 泰友 先生



14:50～15:00 (10分) 休憩

15:00～16:00
(60分)

シンポ
ジウム

- 司会：勝谷先生、遠藤先生
- パネリスト：君浦先生、中谷先生、池上先生